

# 広報ぬまた Numata 2

2024.2.8  
Vol.677



1/7 20歳を祝う会

## 今月の主な内容

- ★20歳を祝う会・・・2
- ★ポートハーディ訪問・・・4
- ★まちレポ・・・6
- ★田舎暮らしの本など・・・10
- ★沼田警察庁舎から・・・11
- ★沼田消防から（消報）・・・12
- ★ふれあいインフォ・・・13
- ★生涯学習ゆめっくる・・・14
- ★図書館バックヤード・・・15
- ★まちの話題と人の動き・・・16



JRに乗り続け隊サポーターを募集しています！  
JR留萌本線を中心に利用促進活動や関連イベント等の情報を発信しています。

■お問合せ 産業創出課 ☎35-2155



# 「20歳を祝う会」 二十歳の決意を胸に20人が参加しました。



20歳を祝う会が、1月7日（日）ゆめつくるで執り行われ、男性8名女性12名の合わせて20名が参加しました。

参加者は色とりどりの振袖などを身にまとい、ご家族や来賓のほか、幼稚園時代の恩師が見守る中、一人一人がマイクの前に立ち、それぞれが20歳の決意を話しました。

横山町長は式辞で「社会人として沼田町に誇りを持って若い力と行動力で様々な部門で活躍することを願っています。」と参加者に言葉をかけ、新成人を代表して岩井碧皇さんと高橋紗蘭さんが20歳の宣言を読み上げました。

その後の交流会では、恩師からのスピーチや懐かしい仲間との再会を喜び、互いに成長した姿を写真に収めるなど楽しい時間を過ごしました。





20歳を祝う会に参加した20名

(敬省略)

宮脇	藤村	平山	沼本	沼本	瀧本	高橋	斉藤	井上	石川	飯田	按田	渡邊	渡邊	森田	中田	高橋	尾中	岩倉	岩井
衣李	直恵	瑞葵	菜夢	千穂	穂乃花	紗蘭	未唯	友結	瑠菜	有音	椎那	吏玖	優生	幸汰郎	翼	成史	飛翔	那月	碧皇



# 友好姉妹都市

# カナダ・ポートハーディ訪問団報告会



## 訪問団派遣行程表（7泊9日）

日にち	行程
日本時間 7/12 (水)	沼田町出発 新千歳空港から成田空港、 成田空港からバンクーバー空港へ
現地時間 7/12 (水)	バンクーバー空港到着 バンクーバー市内を散策
7/13 (木)	バンクーバー空港からポートハーディ空港へ ポートハーディ役場など見学 各ホームステイ先へ
7/14 (金)	施設見学
7/15 (土)	フィロミディ（お祭り）のパレードに参加
7/16 (日)	ホームステイ先と行動 さよならパーティ
7/17 (月)	ポートハーディ空港からバンクーバー空港へ バンクーバー市内を散策
7/18 (火)	バンクーバー空港から成田空港へ
日本時間 7/19 (水)	成田空港着
7/20 (木)	羽田空港から新千歳空港へ 沼田町到着

平成6年から姉妹提携を結んでいるカナダ・ポートハーディ地区に7月12日から20日までの間、横山町長を団長とする訪問団員（高校3年生、中学1年生）15名から、今回の訪問について報告会が12月7日（木）ゆめつくるで行われました。

保護者や教育委員の方などが参加する中、団員から現地で撮影した写真をスクリーン

に映しながら、日本とカナダの文化の違いや楽しかったこと、驚いたことなど、現地で経験して印象に残っている出来事や今後の目標などを一人ずつ報告されました。

今回は、たくさんある写真の中で一部ではありますが、訪問の様子を掲載させていただきますのでご覧ください。



▲▼ 7/13 ポートハーディにて役場や消防署、セカンダリースクールを見学しました



▲セカンダリースクール前のトーテムポールを撮影している様子



▲ 7/14 ジョーイの博物館やゆめつくるのトーテムポールを制作したカルバン・ハントさんのギャラリーなどを訪れました



▲ 7/15 フィロミディのパレードに参加しました

▲ 7/15 プロペラ機（グース）で市内を遊覧飛行しました



▲ 7/16 ホームステイ先の方とさよならパーティを行いました

▲ 7/17 ポートハーディ空港で集合写真

## 一足早いクリスマスプレゼント

### 12/7 北海道コカコーラから福祉施設へ クリスマスプレゼントを贈呈

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（佐々木康行代表取締役社長）から社会貢献活動の一環として、12月7日（木）沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）に清涼飲料水240本がプレゼントされました。

この取り組みは、子どもたちや高齢者の方々へ笑顔を届けることを目的に、クリスマス時期に合わせて行われているもので、寄贈された清涼飲料水は町内老人ホームやデイサービスなどに配られました。



### 12/13 熟成が始まりました 雪なごり原酒科学館貯蔵開始

雪中ブランド酒「雪室熟成純米酒 雪なごり～瑞華～」の熟成が12月13日（水）から始まりました。

雪が深々と降る沼田らしい天候の中、作業が行われた今年は4,000リットルが貯蔵され、約90日の間、雪の科学館で雪冷熟成させる予定となっています。

雪なごりの原料となる酒米を生産している有限会社HJYさくらの山岡禎弘社長は「今年は酒米を優先的に考え、適期に収穫を行った。心を込めて育てたので、美味しいお酒になってほしい」と期待を膨らませていました。



### 12/19 被災時の居住スペース確保へ ムービングハウス協会防災協定調印式

災害時に迅速に応急仮設住宅を建設し、被災者へ良質な居住スペースを確保するため、一般社団法人日本ムービングハウス協会（札幌市：佐々木信博代表理事）と災害時における応急仮設住宅建設に関する協定を結びました。

本協定の締結により、移動式木造住宅の供給などにご協力いただき、居住スペースを確保することで被災者の生活の安定や健康被害リスクなどの軽減を図っていきます。

調印式で横山町長は「災害が起きた際にはご支援よろしく申し上げます」と話され、佐々木代表理事は「迅速に被災者が安全・快適な生活ができるよう取り組んでいきます」と述べられました。



12/ 笑顔で楽しいシーズンへ

## 21 ASHIMOI KANKO 高穂スキー場安全祈願祭

ASHIMOI KANKO 高穂スキー場の安全祈願祭が12月21日（木）執り行われました。

事故・ケガのない安全なシーズンになることを祈願するため、リフトを管理する索道の従業員やスキー学校、ロッジの食堂部の方々が参列され、索道の従業員を代表して岡田和久さん（更新）は「あらゆるケースを想定し、注意を払いながらすべての利用者が笑顔で帰ってもらえるよう取り組んで行きましょう」と挨拶されました。



12/ ありがとうございます

## 22 ひまわりの会からタオルの寄贈

ひまわりの会（山田はしめ代表）から12月22日（金）福祉施設へタオルの寄贈がありました。

この日、ひまわりの会の会員（写真右から中野智明さん、山田はしめさん、馬場美智子さん）が暮らしの安心センターを訪れ、沼田町社会福祉協議会の松田剛会長にタオル150枚を手渡されました。

このタオルは、旭寿園、和風園、なごみで使用させていただきます。



12/ スキー、スノーボードシーズンが到来

## 23 ASHIMOI KANKO 高穂スキー場オープン

ASHIMOI KANKO 高穂スキー場が12月23日（土）今年度の営業を開始しました。

当日は、リフトの無料開放が行われたことに加え、沼田スキー学校のレッスン初日ということもあり、約200名を超える多くの利用者で賑わいました。

中には、初めてスキー場を利用する子どももあり、親と一緒に楽しそうにスキーをしたり、雪遊びをする姿が印象的でした。



## 12/24 練習の成果を発表 ファミリーコンサート

沼田町ファミリーコンサート(同実行委員会主催)が12月24日(日)ゆめつくるで開催されました。

沼田町芸術文化普及促進事業として、沼田中学校吹奏楽部、沼田吹ガールズ、N-link.HIPHOP、沼田ウクレレサークル、歌声サークルが音楽やダンス等を披露しました。

また、ものまね芸人るみるみ氏がゲストとして参加し、大いに会場は盛り上がりました。



## 12/25 歳末、年始の安全のために 歳末特別警戒が始まりました

歳末・年始の犯罪や交通事故などを未然に防ぐため、町防犯協会沼田支部(石田隆広支部長)による歳末・年始特別警戒が12月25日(月)始まりました。

特別警戒にあたり観光情報プラザでは、夜高パトロール隊の出動式が行われ、石田支部長は「町民の安心・安全を守るため、残り数日間事故のないよう活動していきましょう」と話されました。

また出動式後の激励会では深川警察署沼田警察庁舎の三輪所長から「今年1年間の活動に感謝します。年末年始の防犯強化にご協力願います」と激励の言葉を送り、青色回転灯を付けた隊員がパトカーと共に防犯・交通安全街頭啓発パトロールを行い、町内に年末警戒を呼びかけました。



## 1/4 今年最初の運だめし 「新春」福引抽選会

毎年恒例新春イベント「新春福引抽選会」(沼田町商工会主催)が、1月4日(木)観光情報プラザで開催されました。

会場には、Numacaを持っている町民の方々に賑わい、サイコロの出た目の数で電子商品券の金額が決まる「新春運試しサイコロ」の特賞を目指し、抽選機を回していました。また来場者にはみかんが手渡され、お正月の沼田の風物詩を満喫していました。



## 1/ 災害に強い町づくりへ

# 10 令和6年沼田消防出初式

令和6年沼田消防出初式が1月10日（水）役場駐車場で執り行われました。

消防団員たちの力強い分列行進から始まった式典で、小西克典団長は「1月1日に起こった能登半島地震で被災された方々へのお見舞いと防災体制の確立し地域の中核的存在として技術向上、知識取得に努め、引き続き町民の生活を守るためご尽力願います」と挨拶され、横山町長は「町民の安心、安全を脅かす災害に的確に対応するため、今まで培った経験や知識を活かして災害に強い町民が安心して暮らせるまちづくりのためこれからも力を貸してください」と団員たちを激励しました。

式典終了後は町民会館へ移動し、北海道知事表彰など団員に対する伝達が行われました。



## 1/ エコキャップをリサイクル

# 17 小学生エコキャップ感謝状贈呈

沼田小学校（吉田純一校長）の児童会活動として、エコキャップを集め、リサイクル推進活動に貢献したことが称され、特定非営利活動法人エコキャップ推進協会（下田敬子理事長）から感謝状が贈られ、1月17日（水）吉田校長より伝達されました。

各学年から大量に集められたエコキャップは35kgもの量となり、前期児童会長の大山あんじゅさんは、「放送やポスターで声掛けを行い、全校児童みなさんがエコキャップの回収に協力してくれて良かったです」と話されました。



## 1/ 大きな滑り台が完成

# 18 松尾住設が小学校滑り台作成ボランティア

有限会社松尾住設（松尾孝次代表取締役）が1月18日（木）沼田小学校校庭にボランティア作業で雪の滑り台を作ってくださいました。

小学校横の校庭に高く積み上げられた雪山を、大型の重機で綺麗に成形していき、立派な滑り台が出来上がりました。この雪山は児童たちの遊び場やスキーの練習として活用させていただきます。



# 月刊誌「田舎暮らしの本」 シニア世代部門で全国1位 北海道エリアでは6年連続、総合部門1位

人口1万人未満のまち

総合部門

若者世代・単身者部門

子育て世代部門

シニア世代部門

全国5位

全国6位

全国2位

全国1位



田舎暮らしの本（宝島社）  
2024年2月号に掲載された「住みたい田舎」ベストランキングで、沼田町が「人口1万人未満のまち」でシニア世代部門全国1位に輝きました。その他の部門でも上位にランクインし、総合部門で全国5位となりました。北海道エリアでは、総合、子育て世代、シニア世代部門の3部門で1位を獲得し、北海道エリアで6年連続の総合1位となりました。  
移住希望者が主読者のこの雑誌が毎年独自のアンケートを実施し、今回は全国から587自治体から応募があり、ランキングが決められています。

## 大谷選手から小学校へグローブが寄贈されました

米大リーグで活躍する大谷翔平選手が全国の小学校に寄贈した野球用グローブが沼田町小学校（吉田純一校長）にも届き、1月17日（水）冬休み明けの集会でグローブが児童たちにお披露目されました。

グローブは右利き用2個と左利き用1個で、休み時間になると児童が集まり、「かっこいい!」、「サインが書いてある!」と喜びながら実際に投げる動作やグローブを着けて、使い心地を確かめていました。





# 深川警察署

# 沼田警察庁舎あんぜん広場 ☎ 35-3110



## #サイバーセキュリティは全員参加

政府では、毎年2月1日から3月18日までの間を「サイバーセキュリティ月間」としており、北海道警察においても、同期間中、サイバーセキュリティに関する広報啓発活動を集中的に推進しています。

近年、インターネット空間は、経済社会の必要不可欠な基盤となり、人々の生活に様々な恩恵をもたらしている一方で、ネットバンキングに係る不正送金事案や、偽サイトに係るフィッシング詐欺事案、ランサムウェア等の不正プログラム事案等、国民生活を脅かすサイバー犯罪の危険性が社会全体で大きく取り上げられています。

サイバー犯罪の被害に遭わないようにするため、次の対策を実施しましょう

- IDやパスワードは、自分自身でしっかり管理する
  - パソコンやスマートフォンには、ウイルス対策ソフトをインストールする
  - パソコンの基本ソフト（OS）やウイルス対策ソフトは常に最新の状態にしておく
  - 身に覚えのないメール等の添付ファイルやURLは開かない
  - 不必要なアプリや信頼のおけないサイトからソフトウェアをダウンロードしない
  - 定期的にバックアップデータを保存する
  - オンラインショップでの買い物では、そのサイトが本物かどうかよく確認する
- 複数の対策を併用し、また、危機意識を持って、インターネットを安全に利用しましょう。

## ダメゼッタイ みんなが困る 迷惑駐車

- 道路を狭くして通行の妨害になります。
- 交差点付近での事故の原因となります。
- 緊急車両の活動を妨げます。
- 歩行者事故などの原因になります。
- 除排雪作業の障害となります。

### 犯罪の発生状況（令和6年1月末現在）

町内における犯罪件数

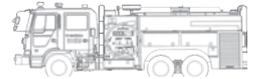
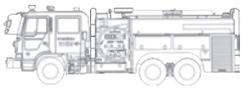
	侵入盗	非侵入盗	粗暴犯	わいせつ犯	その他	合計
令和6年	0	0	0	0	0	0
令和5年	0	0	0	0	0	0

### 交通事故の発生状況（令和6年1月末現在）

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
令和6年	0	令和6年	4
令和5年	0	令和5年	4

詐欺電話が来たら、「#9110」まで、ご相談ください。



## 能登半島地震の教訓を生かして災害に強い沼田町にしよう！

令和6年1月1日16時10分頃石川県能登地方を震源として最大震度7を観測した「令和6年能登半島地震」が発生し甚大な被害を及ぼしました。今回の地震による被害の特徴として、以下の点が挙げられます。

- ・直下型の激しい揺れで建物が倒壊、下敷きとなったケースが多い
- ・土砂崩れや道路損壊により交通網が寸断され、支援物資の到着が遅れた
- ・厳冬期の災害で避難所生活等での健康被害が多い



## 地震への備えとして

- 家具は壁に固定するなど**転倒防止対策**をする
- 建物の倒壊時でも避難しやすいよう玄関や勝手口、大きな窓等の**避難口を2箇所以上確保**する
- 冬期は屋根からの落雪で避難路が塞がれる可能性があるため、**自宅周辺の定期的な除雪**をする
- 揺れがおさまってから**暖房器具やガスコンロの火を消す**  
(可能な限り耐震自動消火装置付を使用する)
- 電気火災防止のため、**避難時はブレーカーを落とす** (可能な限り感電ブレーカーを設置する)
- 防災用品として**貴重品、防寒用品、食品、飲料水、日用品などを用意**する



能登半島地震で最も大きな課題のひとつとなったのが、交通網の寸断による食料品や飲料水の到着遅れです。一般的にライフラインの復旧や支援物資の到着までに「**最低3日**」を要するとされており、災害食などの非常持出（備蓄）品の準備が不可欠です。「**ローリングストック法**」を活用して災害に備えよう。

### 「ローリングストック法とは」

普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つ方法です。

### ポイント

- ・ 費用、時間の面で普段の買い物の範囲でできる
- ・ 買い置きのスペースを少し増やすだけで済む
- ・ 賞味期限切れを防ぐ



住宅用火災警報器は10年を目安に点検・交換しましょう。

『声かけよう みんなで確認 防火の輪』

沼田町  
防火標語



## 後期高齢者医療制度のお知らせ ～高額介護合算療養費について～

### ■ 高額介護合算療養費について

医療と介護の両方を利用している世帯の自己負担を軽減する制度です。

同じ世帯の被保険者が、1年間に支払った後期高齢者医療制度と介護保険の自己負担額の合計が限度額を超えたときは、その超えた額が後期高齢者医療制度及び介護保険から支給されます。

なお、手続きには市区町村窓口への申請が必要となります。

- 後期高齢者医療制度または介護保険の自己負担額のいずれかが0円の場合は対象となりません。
- 支給額が500円以下の場合には支給されません。

### ■ 自己負担限度額表

【1年分の自己負担額の計算期間：令和4年8月1日～翌年7月31日】

負担割合	区 分		自己負担額の合計の基準額
3割	現役並み所得者		【課税所得690万円以上】 212万円
			【課税所得380万円以上】 141万円
			【課税所得145万円以上】 67万円
2割	一定以上所得者（一般Ⅱ）		被保険者1人の課税世帯の場合
			【世帯収入200万円以上】 56万円
1割	一定以上所得者（一般Ⅰ）		被保険者1人の課税世帯の場合
			【世帯収入200万円未満】 56万円
	住民税非課税世帯	区分Ⅱ（※1）	31万円
		区分Ⅰ（※2）	19万円

※1 世帯全員が住民税非課税で区分Ⅰに該当しない方

※2 世帯全員が住民税非課税であり、世帯全員の所得が0円（公的年金収入のみの場合、その受給額が80万円以下）、または老齢福祉年金を受給している方

#### ○申請について

支給対象となる方には、3月下旬に北海道後期高齢者医療広域連合より勧奨通知が送付されます。

申請の際は、送付された書類と印鑑・介護保険証・後期高齢者医療保険証をお持ちのうえ、役場保健福祉課保険グループまでお申し出ください。

◆お問合せ先 保健福祉課保険グループ

☎35-2120

# 国際交流の社会教育的意義 ～世界とつながる沼田町～

現在はインターネットで世界中がつながっていて、外国のことも時差なく日本に入ってくるようになりました。今回はそんな時代に外国の文化について学ぶことの利点についてご紹介します。

## ①広い視野や考え方が身につく

世界には日本以外にもたくさんの国や地域があり、そこには様々な文化が根付いています。それらを知ることで、世界規模の視野で物事を考えることができるようになります。自分たちにとっての「普通」や「当たり前」が、実は他の国や地域では「普通」でも「当たり前」でもないということはよくあることです。これは狭い範囲では町の内外、道の内外でも同じことが言えます。

## ②自分の国や地域について考えるきっかけになる

他の国や地域との比較によって、自分の国や地域の良い所、悪い所等を見つけることができます。自分たちについて振り返る機会は普段なかなかないはずですよ。

## 沼田町の姉妹都市～『カナダ・ポートハーディ』～

平成6年の姉妹都市締結より交流が続いているポートハーディ、そのポートハーディがあるのが『カナダ』です。

新型コロナウイルス感染症の影響で休止していた訪問団の派遣も、今年度再開となり、7月に沼田町の中高生がポートハーディを訪れました。

ゆめっくるの1階ハントホールにはその交流に関する資料を展示した「ポートハーディコーナー」やトーテムポールがあります。またこのハントホールという名前は、トーテムポールの作者である彫刻家のカルバン・ハントさんに由来しています。



## 【事業紹介】「外国文化にふれる会」

令和3年度より名称を変更し、「英語を学ぶ」ことから「文化を知る」ことをテーマとして実施している「外国文化にふれる会」を開催しています。

昨年度は、沼田町のALTであるアイルランド出身のDavid先生にご協力いただき、スポーツを初め、食文化などをご紹介していただきました。

今後の開催告知は、区長発送・教育委員会ブログでお伝えします。



お問い合わせ…沼田町教育委員会教育課（電話 35-2132）

○教育委員会「ブログ」随時更新中○ URL: <https://blog.canpan.info/numakyoui/>



## 『本の福袋の貸し出しを行いました』

沼田町図書館では毎年“本の福袋”の貸し出しを行っています。“本の福袋”とは何かというと、袋の中に貸し出し用の本を数冊と雑誌の付録などのおまけをつけた袋です。袋の中に入っているおまけはそのままもらえるので、運だめしにと借りていくという方が多いです。

運だめしに借りるといってもどんな本が入っているかわからないと選びにくいので、中に入っている本のジャンルを書いた短冊をつけています。また中に入っている本は絵や写真が多めのものを入れているので、文字が多い本は読みにくいという方でも気軽に試していただけるようにしています。

沼田町図書館以外の図書館でも本の福袋を行っている図書館は多数あり、図書館の界隈ではわりと有名な催しのひとつです。

今年は1月9日から1月16日まで行いましたが、開館2日で一般書が入っている福袋は全てなくなるくらい盛況でした。

本の福袋は毎年行っています。今年は終了しましたが、来年も行う予定ですので次回の開催をぜひ楽しみにしていただければと思います。



## 新刊図書

《一般書》

審議官	今野 敏
プロジェクト・インソムニア	結城真一郎
マンションフォンティーヌ	小路 幸也
命とられるわけじゃない	村山 由佳
星に願いを	鈴木るりか
ねえ、ぴよちゃん8巻	青沼 貴子
ゲッターズ飯田の365日の運気が上がる話	ゲッターズ飯田

《児童書》

ふゆといえは…	新井 洋行
ふしぎ駄菓子屋銭天堂 19巻	廣嶋 玲子
シカものがたり	飯野 和好
小学生のお菓子ブック	星野奈々子
わけあって絶滅しました。も〜っと	丸山 貴史

## 新刊図書おすすめ!!



『こいぬのともだち』

作者：堀 直子

絵：いちかわ なつこ

出版社：あかね書房

おなかがすいて目が覚めた子犬のましろは、足を滑らせて小川に落ちてしまいました。そこへ、落ちたましろを笑う声が聞こえます。水の中をのぞくとそこにいたのは、めだかのキララでした。

キララと友達になったましろが、キララにごはんのとり方を教わっていると、ひとりの男の子が近づいてきて……。

## 家から図書館の本を検索しよう

図書館にある本をインターネットで検索できます。検索は、下記のURLかQRコードからどうぞ。  
[http://opac-numata.lib-wa.net/web\\_opac/simple\\_search.php](http://opac-numata.lib-wa.net/web_opac/simple_search.php)



# 能登半島地震の被災地へトイレトレーラーを派遣

令和元年にクラウドファンディングを活用して導入したトイレトレーラーを令和6年1月1日に発生した能登半島地震によって被災された石川県珠洲市へ派遣しました。

今回、トイレトレーラーの保有と派遣を自治体に呼び掛ける一般社団法人助け合いジャパン（静岡県）からの派遣要請を受け、1月20日に沼田町を出発して、22日に珠洲市内の避難所である蛸島小学校にトイレトレーラーを届けました。

また、トイレトレーラーの派遣以外にも、地震により被害が発生した友好姉妹都市の富山県小矢部市へふるさと納税を通じた災害支援の代理受付や役場やゆめっくるなど町内の施設へ義援金箱の設置の被災地支援の取組みを行っておりますので、皆さまの暖かいご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



▲石川県珠洲市蛸島小学校に設置されたトイレトレーラー



富山県小矢部市  
代理寄付受付サイト  
(ふるさとチョイス)

## 1月1日着任 地域おこし協力隊

おさな い ゆうすけ  
**小山内 祐介さん**

千歳市出身の野球、スノーボード、サーフィンが趣味の小山内さんは、そらち自然学校で観光支援員として活動しています。

沼田町内での様々な体験事業や新たな事業開発などを通じ、沼田町に関わる方々を増やし、町の活性化に繋がるよう活動をして参ります。



### 人の動き

(令和6年1月31日現在)

人口 2,828人 (前月比 △4人)  
男性 1,359人 (前月比 1人)  
女性 1,469人 (前月比 △5人)  
世帯数 1,439世帯 (前月比△1世帯)

#### ■総人口増減内訳

増加) 転入: 7人 出生: 1人  
減少) 転出: 5人 死亡: 7人

### 交通事故死ゼロ

(令和6年1月31日現在)

**4,224日継続中!!**

望月 悠成くん 出生児  
1月25日 誕生月日  
崇さん・みささん 保護者の名前

### うぶごえ

氏名	性別	誕生月日	年齢	住所
吾子 幸子さん (女)	女	1月26日	87歳	市内3
荒尾 とみさん (女)	女	1月23日	92歳	市内5
上机 トシ子さん (女)	女	1月19日	88歳	旭寿園
絵内 勝己さん (男)	男	1月10日	80歳	北竜3
杉原 義昭さん (男)	男	1月6日	96歳	旭寿園
橋 トシエさん (女)	女	1月4日	96歳	仲町東
大丸 ミツさん (女)	女	12月15日	91歳	中央
西川 幸子さん (女)	女	12月13日	92歳	旭寿園
南茂 正典さん (男)	男	12月10日	70歳	市内7

### おくやみ